



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社ソフィアホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 6942 URL <https://www.sophia.com/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 飯塚 秀毅  
問合せ先責任者（役職名） 取締役 兼 管理部ゼネラルマネージャー（氏名） 佐藤 元彦 TEL 045-548-6205  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,178	△7.5	△15	—	△36	—	35	54.2
2024年3月期中間期	4,517	△8.7	126	△39.8	129	△35.9	22	643.2

（注）包括利益 2025年3月期中間期 35百万円（54.2%） 2024年3月期中間期 22百万円（643.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	7.71	—
2024年3月期中間期	8.45	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	7,426	3,275	44.1
2024年3月期	7,841	3,109	39.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 3,275百万円 2024年3月期 3,108百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,832	△2.2	83	△64.5	39	△77.0	10	—	2.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社サイバービジョンホスティング
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	4,677,720株	2024年3月期	4,483,720株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	49,040株	2024年3月期	49,020株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	4,543,882株	2024年3月期中間期	2,688,760株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られる等、経済活動の正常化が緩やかに進みました。しかしながら、不安定な国際情勢を背景とする原材料価格やエネルギーコストの高騰の継続、円安の継続および物価高騰に伴う消費者の購買意欲の不安定等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動を展開するインターネット関連事業及び通信事業におきましては、企業の競争力強化や業務効率化を目的としたDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進の動きが加速していることにより、ICT(情報通信技術)への投資需要は引き続き高い状態にあります。また、調剤薬局及びその周辺事業におきましては、薬価改定・調剤報酬改定による影響もあり、業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当中間連結会計期間の経営成績としましては、売上高が4,178百万円(前中間連結会計期間比7.5%減)となりました。利益面におきましては、営業損失15百万円(前中間連結会計期間は126百万円の営業利益)、経常損失36百万円(前中間連結会計期間は129百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純利益35百万円(前中間連結会計期間比54.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### [インターネット関連事業]

売上高は、企業のデジタル変革(DX)への取り組みなどを背景に、ITエンジニアの需要が高まっていること及びインターネット関連のシステム開発も順調に推移しました。しかしながら、子会社1社の売却の影響を受けた結果、売上高は678百万円(前中間連結会計期間比19.8%減)、セグメント利益は44百万円(前中間連結会計期間比28.5%減)となりました。

#### [通信事業]

MVNO(※1)事業は競業他社との競争激化の影響により、売上高は75百万円(前中間連結会計期間比11.9%減)、セグメント損失は2百万円(前中間連結会計期間は22百万円のセグメント損失)となりました。

#### [調剤薬局及びその周辺事業]

売上高は、調剤報酬の改定、薬価改定による影響及び処方箋枚数、単価の減少の影響を受け、前中間連結会計期間比で減収となりました。利益面では、上記売上減の影響及びコスト増加により減益となり、その結果、売上高は3,429百万円(前中間連結会計期間比4.6%減)、セグメント利益は122百万円(前中間連結会計期間比22.4%減)となりました。なお、当中間連結会計期間の末日における当社グループの薬局総数は57店舗となります。

#### [その他事業]

前連結会計年度より、新たに株式会社ソフィアグローバルワークス及びSOPHIA SG MANAGEMENT PTE. LTD. を設立し、外国人を対象とした人材紹介事業及びその周辺事業等の新規事業を開始しております。その結果、売上高7百万円、セグメント損失28百万円となりました。

(※1) Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の状況)

当中間連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ415百万円減少し、7,426百万円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産及びのれんの減少によるものであります。

##### (負債の状況)

当中間連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ580百万円減少し、4,150百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少によるものであります。

##### (純資産の状況)

当中間連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ165百万円増加し、3,275百万円となりました。これは主として、新株予約権の権利行使によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は2,867百万円となり、前連結会計年度末と比べて89百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、39百万円(前年同期は349百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益が124百万円、のれん償却額155百万円等によるキャッシュ・フローの増加と、法人税等の支払額155百万円等によるキャッシュ・フローの減少があったことであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は154百万円(前年同期は26百万円の使用)となりました。主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式売却による収入196百万円等によるキャッシュ・フローの増加があったことであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は283百万円(前年同期は374百万円の使用)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出393百万円等によるキャッシュ・フローの減少があったことであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました予想と変更はございません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,956,565	2,867,004
受取手形、売掛金及び契約資産	1,257,596	1,155,421
商品及び製品	508,990	533,577
その他	229,226	188,029
貸倒引当金	△26,914	△26,852
流動資産合計	4,925,465	4,717,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	469,232	470,801
減価償却累計額	△345,954	△351,568
建物及び構築物(純額)	123,277	119,233
土地	183,012	183,012
その他	455,267	481,960
減価償却累計額	△420,760	△424,358
その他(純額)	34,507	57,602
有形固定資産合計	340,797	359,848
無形固定資産		
のれん	2,341,039	2,145,039
ソフトウェア	10,089	18,475
その他	2,142	2,140
無形固定資産合計	2,353,271	2,165,655
投資その他の資産		
長期貸付金	63,558	60,279
繰延税金資産	39,987	23,780
敷金及び保証金	124,467	105,754
その他	19,957	17,637
貸倒引当金	△25,993	△24,004
投資その他の資産合計	221,977	183,446
固定資産合計	2,916,046	2,708,950
資産合計	7,841,512	7,426,130

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,312	1,636,435
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	780,033	723,906
1年内償還予定の社債	35,000	21,000
未払金	140,247	187,531
未払法人税等	132,190	70,124
賞与引当金	5,016	4,899
株主優待引当金	35,000	44,000
その他	136,711	86,684
流動負債合計	3,096,511	2,874,581
固定負債		
長期借入金	1,573,907	1,236,269
繰延税金負債	726	13,225
退職給付に係る負債	8,134	8,117
その他	52,246	18,490
固定負債合計	1,635,014	1,276,103
負債合計	4,731,526	4,150,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,949,835	2,065,855
資本剰余金	1,244,723	65,825
利益剰余金	△1,023,639	1,206,125
自己株式	△62,244	△62,264
株主資本合計	3,108,675	3,275,541
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△171	△94
その他の包括利益累計額合計	△171	△94
新株予約権	1,482	—
純資産合計	3,109,986	3,275,446
負債純資産合計	7,841,512	7,426,130

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,517,421	4,178,641
売上原価	2,874,531	2,622,003
売上総利益	1,642,889	1,556,637
販売費及び一般管理費	1,516,183	1,572,251
営業利益又は営業損失(△)	126,706	△15,613
営業外収益		
受取利息	121	336
受取配当金	4	4
貸倒引当金戻入額	2,016	1,989
補助金収入	3,247	1,156
社宅使用料	2,562	2,606
その他	5,480	2,719
営業外収益合計	13,434	8,812
営業外費用		
支払利息	9,912	8,792
支払手数料	—	20,078
その他	502	849
営業外費用合計	10,415	29,720
経常利益又は経常損失(△)	129,726	△36,521
特別利益		
固定資産売却益	41	—
事業譲渡益	1,462	—
関係会社株式売却益	—	160,753
その他	—	271
特別利益合計	1,503	161,025
税金等調整前中間純利益	131,229	124,503
法人税、住民税及び事業税	50,593	64,520
法人税等調整額	57,916	24,947
法人税等合計	108,510	89,468
中間純利益	22,719	35,035
親会社株主に帰属する中間純利益	22,719	35,035



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	22,719	35,035
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	76
その他の包括利益合計	—	76
中間包括利益	22,719	35,112
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	22,719	35,112

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	131,229	124,503
減価償却費	23,146	17,073
のれん償却額	177,380	155,170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,119	△2,028
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	9,000
受取利息及び受取配当金	△126	△341
支払利息	9,912	8,792
事業譲渡益	△1,462	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△160,753
売上債権の増減額(△は増加)	△18,282	87,119
棚卸資産の増減額(△は増加)	△25,969	△24,587
未収入金の増減額(△は増加)	△33,300	12,100
その他の資産の増減額(△は増加)	4,338	28,317
仕入債務の増減額(△は減少)	85,714	△79,280
未払金の増減額(△は減少)	1,187	12,704
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,998	△5,255
その他の負債の増減額(△は減少)	48,680	△46,725
その他	1,038	6,797
小計	398,368	142,608
利息及び配当金の受取額	131	344
利息の支払額	△15,310	△8,746
法人税等の支払額	△94,644	△155,567
法人税等の還付額	61,163	61,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,708	39,799

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△29,201	△25,886
無形固定資産の取得による支出	△1,105	△11,398
貸付金の回収による収入	1,493	1,989
事業譲渡による収入	1,538	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	196,313
敷金の差入による支出	△3,169	△6,979
敷金の回収による収入	3,976	100
その他	168	424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,299	154,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△350	—
長期借入金の返済による支出	△345,938	△393,765
社債の償還による支出	△28,600	△14,000
自己株式の取得による支出	—	△20
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	123,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374,889	△283,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,480	△89,561
現金及び現金同等物の期首残高	2,017,889	2,956,565
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,966,409	2,867,004

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

株主資本の著しい変動

1. 新株予約権の行使

当中間連結会計期間において第1回新株予約権の一部行使が行われており、当該新株予約権の行使により発行した株式の概要は以下のとおりであります。

① 行使新株予約権個数	194個
② 資本金の増加額	65,925千円
③ 資本準備金の増加額	65,925千円
④ 増加した株式の種類及び株数	普通株式 194,000株

以上の新株予約権の行使による新株式発行の結果、発行済株式総数は4,677,720株となりました。

2. 減資

2024年5月29日開催の取締役会において、当社第49期定時株主総会に資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会において承認可決され、2024年8月1日付でその効力が発生しております。この結果、当中間連結会計期間末において、資本金は2,065,855千円、資本準備金は65,925千円となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	調剤薬局及び その周辺事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	845,107	82,560	3,589,753	4,517,421	—	4,517,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,824	3,581	4,745	10,151	—	10,151
計	846,932	86,141	3,594,499	4,527,573	—	4,527,573
セグメント利益又は損 失(△)	62,725	△22,435	157,448	197,738	△3,850	193,888

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社で予定している人材紹介事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	197,738
「その他」の区分の損失(△)	△3,850
セグメント間取引消去	—
全社損益(注)	△67,181
中間連結損益計算書の営業利益	126,706

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益、未実現利益の消去等であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	調剤薬局及び その周辺事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	675,210	71,163	3,424,834	4,171,208	7,432	4,178,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,775	4,755	4,200	12,731	—	12,731
計	678,986	75,919	3,429,034	4,183,939	7,432	4,191,372
セグメント利益又は損 失(△)	44,850	△2,523	122,213	164,540	△28,354	136,186

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社で実施している人材紹介事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	164,540
「その他」の区分の損失(△)	△28,354
セグメント間取引消去	—
全社損益(注)	△151,800
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△15,613

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益、未実現利益の消去等であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。